

## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月10日

上場会社名 株式会社ジャノメ 上場取引所 東  
 コード番号 6445 URL <https://www.janome.co.jp>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 真  
 問合せ先責任者(役職名) 経理部長 (氏名) 宮崎 幸靖 (TEL) 042-661-3071  
 四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	17,542	△10.8	279	△57.7	392	△66.9	31	—
2023年3月期第2四半期	19,675	△7.3	661	△63.4	1,186	△33.9	△816	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,367百万円( 248.9%) 2023年3月期第2四半期 391百万円( △64.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	1.62	—
2023年3月期第2四半期	△42.23	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	52,877	33,789	62.4
2023年3月期	51,118	33,364	63.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 33,007百万円 2023年3月期 32,616百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	3.7	2,500	17.9	2,500	4.1	1,500	—	78.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期2Q	19,521,444株	2023年3月期	19,521,444株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	807,737株	2023年3月期	190,154株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期2Q	19,216,117株	2023年3月期2Q	19,331,377株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におきましては、米国経済は消費が安定的に推移するなど総じて堅調な動きとなり、日本でも経済活動の正常化によりサービス消費は回復の兆しが表れる中、設備投資も底堅く推移し内需主導で景気が回復しました。しかしながら、欧州ではエネルギー価格高騰の影響が長引き経済活動にダメージを与え、先進国の経済成長は相対的に低く推移しています。中国では依然として厳しい経済情勢が続いており、ゼロコロナ政策解除後も経済回復傾向はみられないなど、総じて世界経済は不安定な推移となりました。

このような中、当社グループにおきましては、新製品の投入等により消費意欲の創出と市場の需要喚起や、コスト削減による生産性向上に取り組みました。

しかしながら、市場環境は厳しく、当第2四半期連結累計期間の売上高は17,542百万円（前年同期比2,132百万円減）、営業利益は279百万円（前年同期比381百万円減）、経常利益は392百万円（前年同期比793百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は31百万円（前年同期は、816百万円の損失）となりました。

セグメント別の概要は、次のとおりであります。

#### <家庭用機器事業>

家庭用機器事業におきましては、北米や欧州等の先進国では新製品の紹介・販売活動を開始し、高付加価値製品を中心として販売に注力しましたが、普及型の低・中価格帯製品が想定していたほどの販売には至りませんでした。一方で、インド向け売上げが底堅く推移し、全体の台数に寄与しました。

国内では、パイロットショップ「ボビナージュ」等でのワークショップやイベント、SNSを通じた情報発信や、学校販売部門による授業支援等、モノづくりの楽しさを伝えることで拡販を図りました。また、スタイリッシュなカラーデザインモデル「SEWLA（ソーラ）」を新発売するなど、話題性のある取り組みにも注力したものの、厳しい状態が続きました。

この結果、家庭用機器事業全体の売上高は13,046百万円（前年同期比2,285百万円減）、営業損失は54百万円（前年同期は630百万円の利益）となりました。

#### <産業機器事業>

産業機器事業におきましては、EV関連からの受注の増加等、収益面でも回復傾向にある中、国内における営業拠点の新設や製品ラインアップの充実を図るための事業取得等を進めました。しかし、主力の中国市場では、経済の成長鈍化に伴う設備投資環境の停滞により、生産現場からの産業機器製品への需要は低調となりました。また、ダイカスト casting 関連事業も、取引先での生産調整等の影響を受けました。

この結果、産業機器事業全体の売上高は2,929百万円（前年同期比201百万円減）、営業利益は5百万円（前年同期は111百万円の損失）となりました。

#### <IT関連事業>

ITソフトウェア開発や情報処理サービス、システム運用管理の受託等を行うIT関連事業では、デジタルトランスフォーメーション（DX）に取り組む企業が増加する中、主力のソフト開発事業において、新規顧客の開拓に努めるとともに品質管理の徹底による生産性の維持向上を図り、引き続き好調に推移いたしました。

この結果、IT関連事業の売上高は1,462百万円（前年同期比355百万円増）、営業利益は265百万円（前年同期比130百万円増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末の総資産は52,877百万円(前連結会計年度末比1,758百万円増)となりました。

資産の部では、流動資産が受取手形及び売掛金の増加、商品及び製品の増加、現金及び預金の減少等により27,350百万円(前連結会計年度末比1,639百万円増)となりました。固定資産は投資有価証券の増加、繰延税金資産の減少等により25,526百万円(前連結会計年度末比119百万円増)となりました。

負債の部は、流動負債が短期借入金の増加等により11,350百万円(前連結会計年度末比1,541百万円増)となり、固定負債は退職給付に係る負債の減少等により7,737百万円(前連結会計年度末比207百万円減)となりました。

純資産の部は、為替換算調整勘定の増加、自己株式の取得、利益剰余金の減少等により33,789百万円(前連結会計年度末比424百万円増)となりました。

[キャッシュ・フローの状況]

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末から891百万円減少し、6,374百万円(前年同期比258百万円減)となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、事業再編による支出839百万円、売上債権の増加674百万円などにより、941百万円の資金の減少(前年同期は697百万円の資金の増加)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、関係会社株式の取得による支出331百万円、定期預金の預入による支出237百万円、有形固定資産の取得による支出188百万円などにより、718百万円の資金の減少(前年同期は70百万円の資金の減少)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加1,415百万円、配当金の支払額481百万円、自己株式の取得による支出425百万円などにより、414百万円の資金の増加(前年同期は1,073百万円の資金の減少)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月12日に公表しました2024年3月期の連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,336	6,666
受取手形及び売掛金	6,571	7,562
商品及び製品	6,482	7,471
仕掛品	834	812
原材料及び貯蔵品	3,933	4,339
その他	849	829
貸倒引当金	△296	△332
流動資産合計	25,710	27,350
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,977	4,916
土地	12,921	12,872
その他（純額）	2,703	2,811
有形固定資産合計	20,602	20,600
無形固定資産		
その他	644	622
無形固定資産合計	644	622
投資その他の資産	4,160	4,304
固定資産合計	25,407	25,526
資産合計	51,118	52,877

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,836	2,315
短期借入金	3,984	5,555
未払法人税等	136	144
賞与引当金	567	677
その他	3,285	2,658
流動負債合計	9,809	11,350
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	3,107	3,090
退職給付に係る負債	3,836	3,619
その他	1,001	1,027
固定負債合計	7,944	7,737
負債合計	17,754	19,087
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,372	11,372
資本剰余金	0	0
利益剰余金	12,156	11,741
自己株式	△325	△750
株主資本合計	23,204	22,364
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	136	166
土地再評価差額金	6,977	6,940
為替換算調整勘定	2,159	3,399
退職給付に係る調整累計額	139	136
その他の包括利益累計額合計	9,412	10,643
非支配株主持分	747	781
純資産合計	33,364	33,789
負債純資産合計	51,118	52,877

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	19,675	17,542
売上原価	11,983	11,075
売上総利益	7,692	6,467
販売費及び一般管理費	7,030	6,187
営業利益	661	279
営業外収益		
受取利息	1	11
受取配当金	65	63
為替差益	492	242
その他	78	112
営業外収益合計	637	429
営業外費用		
支払利息	38	54
資金調達費用	52	11
事業再編費用	—	216
その他	21	33
営業外費用合計	113	316
経常利益	1,186	392
特別利益		
投資有価証券売却益	—	3
固定資産売却益	2	1
特別利益合計	2	4
特別損失		
減損損失	—	26
事業再編損	1,513	—
固定資産除売却損	7	18
特別損失合計	1,520	44
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△331	352
法人税、住民税及び事業税	850	134
法人税等調整額	△281	133
法人税等合計	568	268
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△899	83
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△83	52
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△816	31



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△899	83
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	30
為替換算調整勘定	1,267	1,255
退職給付に係る調整額	20	△2
その他の包括利益合計	1,291	1,283
四半期包括利益	391	1,367
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	443	1,298
非支配株主に係る四半期包括利益	△51	68

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△331	352
減価償却費	576	524
事業再編損	1,513	216
減損損失	—	26
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△9	△250
受取利息及び受取配当金	△66	△74
支払利息	38	54
売上債権の増減額(△は増加)	767	△674
棚卸資産の増減額(△は増加)	162	△396
仕入債務の増減額(△は減少)	△450	331
その他	△174	△232
小計	2,026	△122
利息及び配当金の受取額	69	66
利息の支払額	△38	△54
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,359	8
事業再編による支出	—	△839
営業活動によるキャッシュ・フロー	697	△941
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△0	△237
定期預金の払戻による収入	188	10
有価証券の取得による支出	—	△0
有価証券の売却による収入	—	10
有形固定資産の取得による支出	△249	△188
有形固定資産の売却による収入	5	99
関係会社株式の取得による支出	—	△331
その他	△15	△81
投資活動によるキャッシュ・フロー	△70	△718
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△466	1,415
自己株式の取得による支出	—	△425
配当金の支払額	△481	△481
その他	△125	△94
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,073	414
現金及び現金同等物に係る換算差額	42	354
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△404	△891
現金及び現金同等物の期首残高	7,037	7,265
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,632	6,374

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年8月9日開催の取締役会決議に基づき、自己株式617,500株の取得を行っております。当該自己株式の取得等により、当第2四半期連結累計期間において自己株式が425百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が750百万円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	家庭用機器	産業機器	I T 関連	計		
売上高						
日本	2,475	2,070	1,107	5,652	—	5,652
北米	5,623	195	—	5,819	—	5,819
欧州	2,666	158	—	2,824	—	2,824
その他	4,567	707	—	5,274	—	5,274
顧客との契約から生じる収益	15,332	3,131	1,107	19,571	—	19,571
その他の収益	—	—	—	—	103	103
外部顧客への売上高	15,332	3,131	1,107	19,571	103	19,675
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	250	231	481	46	528
計	15,332	3,381	1,338	20,053	150	20,204
セグメント利益又は損失(△)	630	△111	135	654	5	659

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	654
「その他」の区分の利益	5
セグメント間取引消去	1
四半期連結損益計算書の営業利益	661

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	家庭用機器	産業機器	I T 関連	計		
売上高						
日本	1,671	1,868	1,462	5,002	—	5,002
北米	4,177	149	—	4,326	—	4,326
欧州	4,015	292	—	4,307	—	4,307
その他	3,182	619	—	3,801	—	3,801
顧客との契約から生じる収益	13,046	2,929	1,462	17,439	—	17,439
その他の収益	—	—	—	—	103	103
外部顧客への売上高	13,046	2,929	1,462	17,439	103	17,542
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	350	246	598	46	645
計	13,048	3,280	1,708	18,037	150	18,188
セグメント利益又は損失(△)	△54	5	265	216	60	276

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	216
「その他」の区分の利益	60
セグメント間取引消去	3
四半期連結損益計算書の営業利益	279